

# 鶴見区 社協 97号 だより

【第97号】2025年3月6日発行

編集：社会福祉法人横浜市鶴見区社会福祉協議会「鶴見区社協だより」編集委員会

★「鶴見区社協だより」の発行には、赤い羽根共同募金の配分金を活用しています。



鶴見区社会福祉協議会  
マスコットキャラクター カメ吉

## 防災の取組を通して地域を知り、障害を知る

鶴見区内で実施されている防災拠点訓練の様子から、  
障害のある方の地域参加や  
地域住民のみなさんとの交流などを紹介します



あなたのまの  
地域防災拠点はこちら



### 「参加したい」の声を実現 ～視覚障害の方や障害のある子どもたちと駒岡地区～

駒岡小学校では、町内会等の地域の住民が毎年訓練を行っています。

令和5年度、視覚障害のある松坂さんから「ぜひ訓練に参加したい」というご要望がありました。地域防災拠点運営委員長の犬塚さんは、「特別な配慮には限界があるけれど、実際の災害時もそれは同じ。それをご理解いただき、ぜひ参加をしていただきたい」と、参加を歓迎。当日は地区の民生委員とともに、防災拠点までの道のりを歩いたり、簡易トイレに実際に触ったりと、訓練への参加が実現しました。

この経験をとおして、運営委員の中では「住民の人たちにも、災害時には様々な避難者がいることを知ってほしい」との思いが深まりました。

そこで令和6年度は、訓練の前に「避難所での障害理解促進」について学び、県立鶴見支援学校や地域作業所「一歩舎3号館」にも参加を呼びかけました。また、障害児通所支援事業所（放課後等デイサービス）から「子どもたちが通ってきている時間に災害があつたら地域住民の理解が必要になるから、ぜひ訓練に参加したい」というご相談もあり、当日は障害のある子どもたち12名が参加しました。会場では、車いすが消火ホースをまたげるように段差解消ステップを配置するなどの工夫を行いました。



参加した事業所からは、「子どもたちのイメージがついた上、地域の方と顔見知りになれて貴重な機会だった。施設としても何か力になればと思う」との感想が出されました。

犬塚さんは「避難所にはとにかく色々な人が来るため、助け合いが大切。要援護者に積極的に防災訓練に参加していただき、相互に理解を深めていきたい」と話します。



### 役割を持って参加する防災訓練 ～高次脳機能障害の方と鶴見中央地区～

令和6年11月、鶴見小学校において鶴見中央地区の防災拠点訓練が行われました。当日は、高次脳機能障害の方の日中活動事業所「ふれんどーの絆」の利用者10名が訓練に参加し、防災備蓄品の仕分けなどをしました。

ふれんどーの絆の所長竹越さんは、「これまではお客様のような立場で参加していたが、今回は備蓄品の仕分けなど役割をいただき、より良い経験となった。コロナ禍でイベントが少なくなり、現在地域との一番のつながりは防災訓練になっている。地域と顔の見える関係性ができたことや、情報の共有ができることが大きな安心感となった」といいます。

地域防災拠点運営委員長の八木さんは、平時からの交流の大切さを話しました。「障害の施設が地域にあることを知らない人も多い。互いにとっての人が障害のある方が、どの方が地域住民かわかっていることで、発災時に連携がとりやすくなる」

障害のある方が訓練に参加することで、靴を脱ぎやすいよう入口を分けてイスを置いたり、ブルーシートの間隔を車いすが通れる幅に広げたりと、設営で配慮や見直しが必要な部分に気付けたといいます。月1回の防災会議の中で障害理解を進めることも継続して実施しています。

「障害のある方との取組をきっかけに、外国につながる方や一人暮らしの若い方、犬猫などのペットまでも視野を広げて、あらゆる方に対応した防災拠点を目指して進めていきたい」。そのような想いととも、防災訓練が続いています。



## 鶴見区社会福祉協議会の取組を紹介します

令和7年1月21日

### 災害ボランティアセンター運営 訓練を実施しました



大きな災害が起きた際、区の防災計画に基づき鶴見区福祉保健活動拠点に、被災現場で助けを必要とする人とボランティアをつなぐ「災害ボランティアセンター」が開設されます。

1月末、区内での震度6弱の地震発生後を想定し、センター立上げ訓練を行いました。54名の方がボランティア役として参加し、災害ボランティアセンターでの受付や派遣の流れを体験していただきました。

### 善意銀行寄付に感謝申し上げます。

【寄付者一覧】令和6年10月1日～令和7年1月31日

敬称略・順不同・()内の数字は期間中の寄付回数

**金銭寄付者** キッチンmatsui(2)、山川晃弘、NPO法人あしほ、神奈川土建一般労働組合横浜鶴見支部、吉澤真一、金子芳子、地域ふれあいまつり実行委員会、公益社団法人鶴見法人会、横浜労協協東支部、東寺尾図書館、片田由美子、市場地区社会福祉協議会市場地区自治会連合会、矢向地区連合町内会、イトーヨーカドー労働組合鶴見支部、AGC労働組合横浜支部、AGC労働組合本部、匿名(5)

**物品寄付者** 鶴見東町会、吉兆グループ(4)、遠藤哲也、イトーヨーカドー鶴見店、東寺尾北部町内会、匿名

善意銀行は、皆様から寄付金や物品をお預かりし、鶴見区内の福祉施設や当事者団体などへ配分する取組です。

寄付方法 区社協窓口への持参(平日9時～17時)または銀行口座へのお振込み。

詳しくはホームページをご覧ください。

社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会

〒230-0051

横浜市鶴見区鶴見中央4-37-37 リオベルデ鶴声2階

電話 045-504-5619 FAX 045-504-5616

